

小学校・生活習慣

【 家庭生活について 】

生活に関係するもの

<よい傾向の見られる内容>

- ほとんどの児童が起床時刻、就寝時刻を決めており、基本的な生活のリズムが身に付いている。
- 朝食を毎日食べている児童が、約90%いる。

<課題が見られる内容>

- ◆放課後や週末に、テレビ、ビデオ・DVD を見たり、ゲームやインターネットをしたりして過ごすとした児童の割合が高い。
- ◆家の人に学校での出来事について話さないと答えた児童が、20%を超えている。

学習に関係するもの

<よい傾向の見られる内容>

- 自分で計画を立てて勉強をしていると答えた児童が、70%を超えている。
- ほとんどの児童が宿題に取り組んでおり、約70%の児童が授業の予習・復習をしている。

<課題が見られる内容>

- ◆放課後や週末の過ごし方について、具体的な手立てが必要である。

生活習慣の向上に向けて

- ☆ゲームやインターネットをする時間について家庭のルール作りを行う等、家庭の教育力の向上を図ることが望まれる。
- ☆各校で作成している「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習の習慣化（予習・復習）に向け、学校と家庭が連携しながら取り組む必要がある。
- ☆将来の夢や目標に向け、それを実現するための「キャリア教育」を、学校と家庭が連携しながら推進していくことが望まれる。

【 学校生活について 】

<よい傾向が見られる内容>

- ほとんどの児童が、いじめはどんな理由があってもいけないことだと答えている。
- 学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると答えた児童が、約70%いる。
- 先生はあなたのよいところを認めてくれていると答えた児童が、90%を超えている。

<課題が見られる内容>

- ◆授業で自分の考えを発表する時、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立て等を工夫して発表することは難しいと感じている児童が多い。
- ◆昨年度と同様に、調査問題の解答時間が十分でなかったと答えている児童が多い。

学校生活の向上に向けて

- ☆「ことば」そのものが持つ力を重視し、「話す」「書く」の活動を有効に取り入れた授業づくりが必要である。
- ☆調査問題の解答時間が十分でなかったと答えている児童が多いことから、今後もそれぞれの問題の文意を的確に理解するなど、文章を読みとる力を育てる必要である。

【 人や地域との関わりについて 】

<よい傾向が見られる内容>

- 今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童は、90%を超えている。また、地域のボランティア活動等に参加していると答えた児童が、約70%いる。

<課題が見られる内容>

- ◆地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがあまりないと答えた児童が多い。

【 自己について 】

<よい傾向が見られる内容>

- 自分にはよいところがあると答えた児童が、約80%いる。
- ほとんどの児童が、人の役に立つ人間になりたいと考えている。

<課題が見られる内容>

- ◆将来の夢や目標を持っていないと答えている児童が、約20%いる。

内面を育てるために

- ☆道徳教育を充実させ、人としてよりよく生きるための基本的な心構えや行動の仕方について学ぶ体験的な場を設定する。
- ☆各校の福祉教育を充実させ、思いやりの心を持ち励まし合い助け合う児童を育成する。
- ☆今後も一層、特色ある学校づくりを推進する。

今後に向けて

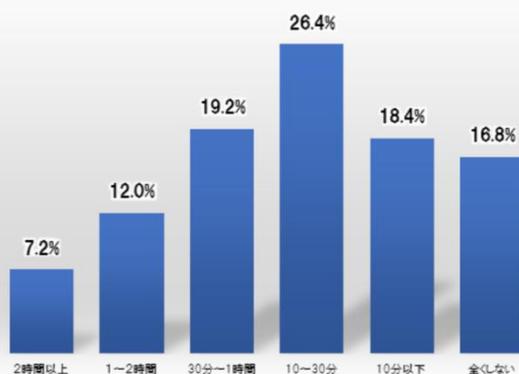
- ⇒平成26年度から幼小中及び家庭との連携で進めている「家庭生活の六つのやくそく」、「家庭学習の六つのやくそく」をもとにした、基本的な生活習慣、学習習慣の更なる定着を図る。
- ⇒幼小中を一貫した「ことばの力」育成プログラムを実践し、系統的な言語指導の充実を図る。
- ⇒今後も学校・家庭・地域の連携のもと、「体験活動」の更なる充実と「ふるさと意識」の醸成を目指す。

【 家庭や地域での生活の様子 】

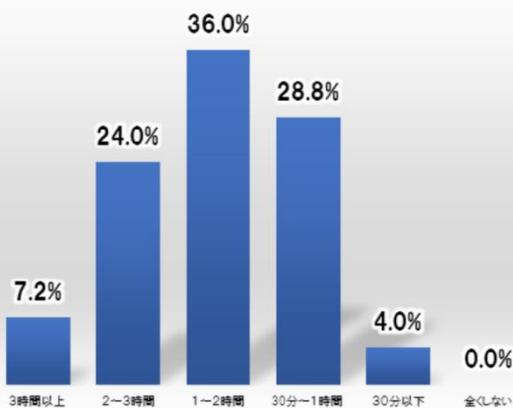
基本的な生活リズム



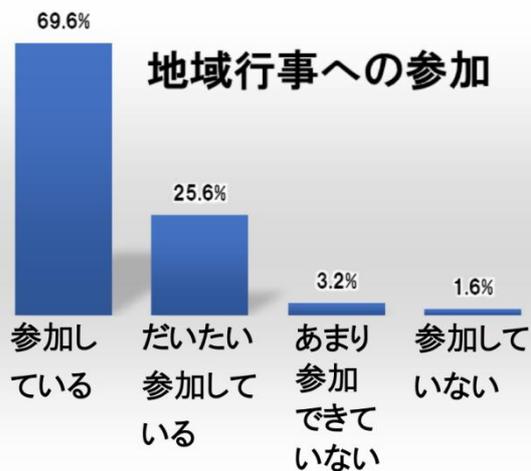
平日の読書時間



平日の家庭学習時間



地域行事への参加



(平成30年度 6年生 児童総数125名)